



開かれた議会を目指します！

有田町議会だより

令和5年
12月議会
No.67

目次

- ◆令和5年一般会計補正予算（第4号）
13億5387万円を追加補正し
140億7452万円に P2～
- ◆ここが知りたい！徹底討論！
一般質問 13人 P6～
- ◆常任委員会視察報告 P19～

錦秋の龍門峡 11月22日撮影

令和6年1月31日発行

令和5年12月 議会議案の 審議結果 (一部抜粋)



議案番号	提 出 議 案	審議の結果
議案第57号	アメリカ合衆国軍隊の構成員等の所有する軽自動車等に対する軽自動車税の種別割の特例に関する条例について	賛成全員
議案第59号	有田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第60号	有田町手数料条例の一部を改正する条例について 証明書などの交付に係る手数料の免除に関し、コンビニエンスストア等の多機能端末による交付の場合は、免除の該当から除外するためには、現行条例の一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第61号	有田町中小企業振興資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例について 融資制度の電子化に対応し、融資の迅速化のため貸付けの申込先を変更するには、現行条例の一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第62号	有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正により、関係府令が改正されたことから、現行条例の一部を改正する必要がある。	賛成全員
議案第63号	令和5年度有田町定住促進住宅2号棟C側階段室（10室）改修工事及びポンプ室更新工事請負契約の変更について 現地再調査の結果、機械設備工事（共用部排水工事）の設計の変更が必要となり、契約額を316万円増額する。	賛成全員
議案第64号	指定管理者の指定について 有田町多世代交流センター「ゆいたん」及び老人福祉センター「ちとせ」の管理及び運営を効果的かつ効率的に行わせる。指定団体は有田町社会福祉協議会。	賛成全員
議案第67号	令和5年度有田町一般会計補正予算（第4号）について 補正前127億2065万円 → 補正後140億7452万円	賛成全員

👍 クローズアップ

★令和5年度有田町定住促進住宅2号棟C側階段室（10室）改修工事及びポンプ室更新工事請負契約の変更

定住促進住宅であるサンコーポラスは、築30年が経過し、水漏れや給排水の修繕など多発している。工期は令和5年度から令和10年度で、6期の工事に分け全60戸を行う。機械設備工事（共用部排水工事）の設計変更により、契約額を増額した。



▲定住促進住宅内給排水管工事の様子

◎歴史と文化の森公園管理事業 噴水広場「花炎」修復業務

600万円

噴水広場「花炎」は噴水稼働を休止しているため、地下に埋没されているポンプを地上に出し、稼働できるよう修復工事が計画されている。

世界的に有名な岡本太郎氏の遺作でもある噴水広場は町民の憩いの場でもあり、2024年の国スポなど、有田町への訪問や噴水広場への来場客の増加も予想される。文化度が高い公園でもあり、スポーツ・文化の祭典に合わせ、色あせた表面を修復するよう要望があり、およそ600万円の補正予算を組んで今年度の修復実施予定となった。



◎白川キャンプ場跡地トイレ設置事業

651万円

白川キャンプ場は、安全管理や周囲環境の面から、数年前に遊具やトイレなどが撤去され、現在はキャンプ場跡地となっているが、特有の観光資源であるため、今でも町内外の人がキャンプ場跡地まで足を運んで散策や憩いの時間を過ごしている。

今年度、地域の要望もあり再度トイレの設置を行うことになった。

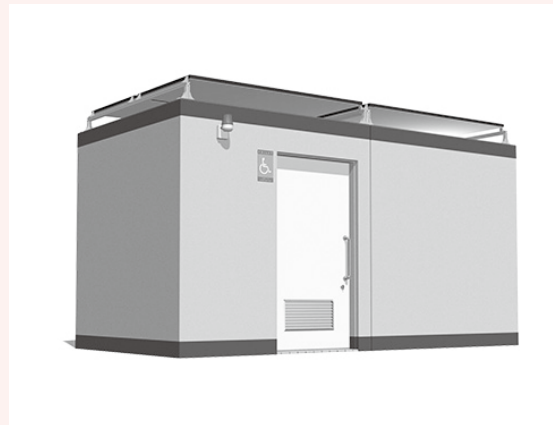
飲料水と密接な有田ダム湖に近いため排水処理の見直し、また多くの槽を必要とする一般の合併浄化槽は事業費も増大するため、微生物分解処理による排水を全く必要としない循環型方式での設置準備が進められている。

当初予算およそ2000万円に651万円の追加補正を行い、循環型設備設置に加えて夜間の周辺外灯の点灯整備や、バリアフリー配慮のための舗装整備も行われる。

今年度完成予定としている。



▲白川キャンプ場駐車場



▲循環型トイレのイメージ

12月定例議会委員会審議

産業建設

常任委員会

商工・環境・農林・土木建設・上・下水道・農業集落排水・浄化槽・宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 手塚 英樹
副委員長 諸隈 洋介

でに改修していく予定である。

▼有田町中小企業振興資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例

例

諸隈委員

令和5年度の有田町中小企業振興資金の貸付実績は。

商工観光課長

上限5百万円の運転資金が7件、上限7百万円の設備資金が7件、運転と設備の併用は4件で合計18件。金額は5億6008万円である。

▼令和5年度有田町定住促進住宅2号棟C側階段室(10室)改修工事及びポンプ室更新工事請負契約の変更

樋渡委員

全工事はいつまでか。

建設課長 令和10年度ま

▼令和5年度有田町一般会計補正予算(第4号)

岩尾委員

食と器による観光まちづくり補助事業の広報の説明を。

商工観光課長

来年の3月22日から26日まで、福岡キャナルシティ近くのレストランGoh Gan(ゴウギャン)で、有田町の観光プロモーションを行いたい。1つ目はレストランにおいて有田の食材と器を用いた食のイベント。2つ目は冊子multo(ミューと)での有田特集ページの掲載。3つ目はWEBマガジンUMAGA(ウマガ)でのイベント告知

及び集客である。

岩尾委員

白川キャンプ場跡地トイレ設置工事の整備をしているが、排水の必要がないトイレなのか。

農林課長

トイレ自体は循環型なので排水はない。足洗いの場の設置をするが、川から汲み上げ自然流下で排水をする。車道側以外に駐車場からも車いすが使えるように、駐車場の丸太を削り、アスファルト舗装をし、凸凹を解消した状態にしたい。

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。



▲サンコープラス有田

文教厚生

常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 藤 誠一郎
副委員長 松永 俊和

が、約2300世帯を予定している。

▼有田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

浦川委員

町内に特定地域型保育事業があるか。

子育て支援課長

認可を受けた小規模の保育所または事業所内の保育所等であるが、現在のところ有田町内にはない。

▼令和5年度有田町一般会計補正予算(第4号)

松永委員

物価高騰対応重点支援給付金事業について、対象は何世帯あるか。

健康福祉課長

非課税世帯に7万円の給付だ

学校教育課長

駐車場の体育館側の植栽のあるところを考えている。既存の屋外トイレは40年ほど経過・老朽化していたが、今回はトイレの寄贈があったため新たに設置することとした。

令和5年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

健康保険特別会計補正予算(第2号)

梶原委員

ベジメータ購入目的や活用予定は。

健康福祉課長

野菜の摂取状況を数値化するもので、特定健診の結果相談会、健康づくり栄養教室、通いの場などでの測定や、保健センターや本庁舎での定期

的なベジメータ測定会
を予定している。

▼令和5年度有田町介護 保険特別会計補正予算 (第2号)

藤委員長 介護保険料の

全国平均が6
014円とな
っている中、
有田町は安い
金額となっ
ている。来年度
(第9期)か
らの見込み
は。

健康福祉課長

町の介護保険
料は、月額5
600円で、
県内で最も安
い額である。
第9期につい

〔月額：円〕

	第6期 (H27～H29)	第7期 (H30～R2)	第8期 (R3～R5)
有 田 町	6,121	5,950	5,600
伊 万 里 市	6,450	6,450	6,450
唐 津 市	5,981	5,981	6,124
玄 海 町	4,600	5,400	6,850
杵 藤 地 区 広 域	5,986	5,986	5,986
佐賀中部広域連合	5,270	5,960	5,960
鳥 栖 地 区 広 域	4,864	5,691	5,691
全 国 平 均	5,405	5,784	6,014

▲県内介護保険料の推移

ても、現状では保険料
を上げるとは考えて
いない。

上程されたすべての議
案は全員賛成で可決すべ
きものと決しました。

総務常任委員会

(委員)会構成議員 6人

委員長 中島 達郎
副委員長 蒲原多三男

総務に関すること、他の委員
会に属しないこと、全般につ
いて審議します。

▼アメリカ合衆国軍隊の構
成員等の所有する軽自動
車等に対する軽自動車税

の種別割の特例に関す
る条例

池田委員 軍隊の構成員
の範囲を。

税務課長 在日米陸軍、
海軍、空軍に属する人
で、特例の対象は、軍
人とその家族で運転免
許を所持する者であ
る。

原田委員 対象者の車両
の車検や自動車保険の
取り扱い方は。

税務課長 車検は適用さ
れ、自賠責保険に加入
しており、その他の保
険は日本と同様に任意
である。

今泉委員 公用車と私用
車の区別を。

税務課長 米国政府のナ
ンバー・プレートがあ
るものが公用車、Y又
はAと表示してあるも
のが私用車であり、町
内該当車両は、令和5
年度課税で3台ある。

▼令和5年度有田町一般
会計補正予算(第4号)

▽歳出 総務費

今泉委員 空き家流通促
進奨励金の増額理由
を。

まちづくり課長 空き家
物件インフォメーショ
ン登録数が、8件から
12件に増加しており、
購入可能物件を8件か
ら12件に増やしてい
る。

原田委員 有田町地域づ
くり事業補助金の始動
補助金の説明を。

まちづくり課長 新しい
グループを結成して活
動を始める時などの、
始動資金として補助を
するものである。

中島委員 戸籍謄本・抄

本のコンビニ交付を。

住民環境課長 発行する
ためにはシステム改修
を要し、約2千万円か
かり、費用対効果の面
から難しい。

▽歳出 消防費
原田委員 防火用水膜設
備の導入を。

総務課長 導入に向け、
消防署に消防団と体制
を整えるための協議を
依頼している。

上程されたすべての議
案は全員賛成で可決すべ
きものと決しました。



▲令和6年消防団出初式

農業政策ビジョンは

まつお ふみのり
松尾 文則 議員

答 儲かる農業を目指す



▲儲かる農業を目指すハウス金柑

現在の農業政策と現状

議員 現在の農業政策と現状は。

農林課長 儲かる農業を県・JAと連携し目指している。コロナ物価高騰対策支援や町単独の結の里事業を継続し、農業機械の更新費用やドローン購入費補助を継続していきたい。

今後の農業政策は。

農林課長 儲かる農業を目指し、「さが園芸生産888億円推進事業」に取り組み、施設園芸の振興を図る。

議員 道の駅建設についてどう考えるか。

町長 全国でこのような施設ができているので、しっかりと勉強して有田にも取り組めたら考える。

中山間地域等直接支払制度の林地化

議員 中山間地域等直接支払制度による林地化は。

農林課長 第6期が始まる令和7年から中山間地域等直接支払制度を活用し、現在進めている地域計画との整合性を図りながら進める。

議員 今後、中山間地域等直接支払制度の協定継続は厳しくなる。次の協定について早急に協議に入る時では。

農林課長 国からの制度概要が示されたら、制度説明会を開催する。来年度は制度の情報収集に努める。

議員 最適土地利用総合政策とはどういうものか。

農林課長 中山間地における複数の集落を対象に、地域ぐるみの話し合いで最適な土地利用

用構想を策定する政策である。

議員 今後、複数の地域を一緒にするような大型化が必要では。

農林課長 今後は農業後継者不足から近隣集落との共同営農活動が必要であると思われるが、現状は厳しい。

ため池の防災対策

議員 県営老朽ため池工事の地元負担金は、1・5%から1%に減額するとあったが。

建設課長 12月に規則改正を行った。

議員 町全体のため池数は。

建設課長 西地区15



▲県工事で整備中の老朽ため池（立部地区）

2カ所、東地区63カ所、個人所有179カ所の合計394カ所である。

議員 防災対象として152カ所の調査を行っているが、工事についての説明を。

建設課長 令和4年31カ所、令和5年80カ所、令和6年41カ所の調査を行う。令和6年から県営事業にて工事に入る。

町内、人工透析患者の現況は



まつなが としかず
松永 俊和 議員

答 糖尿病性腎症による患者が急増

安心・安全な
福祉施策

▽保健事業実施計画
(データヘルス計画)

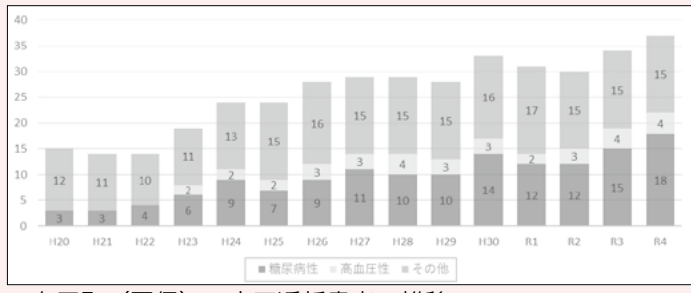
議員 町では高齢者に限らず、安心・安全な暮らしができるよう、活動支援や健康診断などの施策を行っている。それらは第二期データヘルス計画に沿っていると思うが計画の概要は。

健康福祉課長 第二期データヘルス計画は平成30年度から令和5年度までとなっている。被保険者の健康の保持増進に資することを目的に、保険者が特定健診等の結果や、レセプト(診療報酬明細書)などのデータを活用し、PDCAサイクル(※)に沿って、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画である。今年度が第二期の評価及び第三

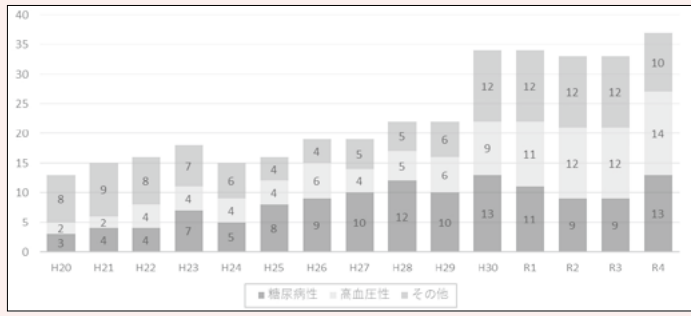
期計画の策定年となっている。
※PDCAサイクルとは、Pは(計画)Dは(実行)Cは(評価)Aは(改善)の略。

▽糖尿病性腎症の現状と予防啓発活動

議員 町内の人工透析患者数が増加していると聞くが、現状は。



▲有田町(国保)の人工透析患者の推移



▲有田町(後期高齢者)の人工透析患者の推移

健康福祉課長 町の人工透析患者数を平成20年度と令和4年度と比較すると、糖尿病性人工透析患者が急増している。

議員 左記のグラフで分かるように、平成20年度は28人であるが、令和4年度は74人となっている。

町では生活習慣病対策として、血圧・糖尿

病・脂質・慢性腎臓病などの予防喚起に努めているが、年齢が高くなれば臓器や血管も傷んでくる。基本、町民が自分自身の身体(健康)に関心をもち、生活習慣(食事や運動)などを含め、食生活の改善と健康増進の試みが第一であるが、今後の啓発活動は。

健康福祉課長 健診結果を丁寧に説明し、リスクを理解して頂き、生活習慣の見直しの指導や広報紙による啓発活動の充実を図る。

議員 各地区の老人会や通いの場、高齢者サロンなどで出前講座など啓発活動をしては。

健康福祉課長 先日、通いの場へ出前講座を行い、好評であった。議員 町内には人工透析ができる施設がない。透析患者数が今後もっと増えると思われる。人工透析は週に3

回通院しなければならぬ。本人や家族の負担(時間や通院費用)が増える。「町内に人工透析のできる病院が欲しい」「不便である」このような要望があるが、町としての対策は。町長 現在、県西部保健医療圏では、伊万里市内の3病院で行われており、県や医師会としては、圏内では充足していると考えられている。現状では、伊万里有田共立病院において、専門医をはじめ透析治療を行える環境を整えるのは難しいと考えるが、腎臓専門医が確保できれば専門スタッフ、透析室、専用機器等を整えることを前向きに考えていきたいと院長から聞いている。管理者として医療の棲み分け等バランスも考慮しながら、院長含め検討をしていきたい。

どのような国スポにしたいか



くぼ た ゆたか
久保田 豊 議員

答 町として心に残る良かったと思って頂ける大会にしたい

国スポ開催

議員 いよいよ来年度、48年ぶりに県内での大会が始まるが、進捗状況は。

生涯学習課長 令和3年に有田町実行委員会を発足し、その中に4つの専門委員会、総務企画、競技式典、宿泊衛生、輸送交通を作り、各種計画要項等を作成し、その基準に従いリハーサル大会まで終了している。これからは、

令和6年10月の本大会に向けて準備を本格化させていく予定である。

議員 ウエイトリフティングは、なかなか馴染みのないスポーツであるが、テレビで見ると、リハーサル大会は良かったと思うが。

生涯学習課長 運営は県協会等の協力により無事終了した。今後は、競技の見どころの奥深さの紹介や、町民の関わり方や気運を高める

ことが課題。

議員 ウエイトリフティングは、ルールと競技等は町民の皆様は知らないと思うので、体験型のブースを設けてはどうか。

生涯学習課長 貴重な意見だと思う。安全面等を考慮して検討したい。

議員 トイレは。

生涯学習課長 本大会も仮設トイレを計画し、清潔感を重視し検討する。

議員 駐車場の確保は。

生涯学習課長 臨時駐車場を設け、シャトルバスを運行予定である。

議員 案内等は。

生涯学習課長 リハーサル大会を検証し、ひと目でわかるアクセス、会場見取り図看板等の増設を考えてい

る。

議員 小中学校の児童の学校観戦の実施は。

生涯学習課長 学校観戦の呼びかけをしていきたい。

議員 人員の確保は。

生涯学習課長 リハーサル大会以上のスタッフとボランティアが必要である。

議員 町長自身はどのような国スポにしたいか。

町長 令和4年開催の栃木国体は悪天候の中での視察だった。本町での大会は48年ぶりの大会なので、皆様に喜んでいただける、心に残る素晴らしい大会にしていきたい。



▲ウエイトリフティング リハーサル風景

納得いく判断ができる審議を

うらかわ かずひこ
浦川 和彦 議員

答 結論を急がず、十分審議したい

小中学校適正規模
適正配置審議会

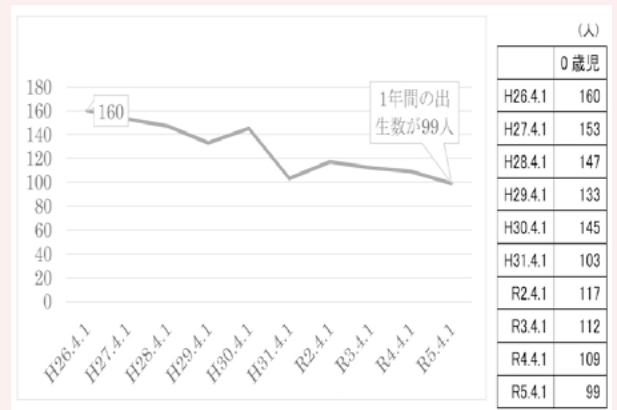
議員 教育環境の現状は。

教育長 児童生徒数の減少。令和5年4月1日の0歳児人口は99人で、ここ10年間で4割減少。学級数の減少により、先生の数や学習指導、部活動などの影響も出ている。

施設の老朽化。西有田中の校舎が築63年、曲川小築57年、有田中と大山小が築40数年。

議員 審議会における判断材料と基準は。

教育長 7つの学校スタイルがあり①小規模校同士の統合②標準規模校への統合③新たな学校を設置④小規模特認校の設置⑤小中一貫校の設置⑥義務教育学校の設置⑦現状の規模で存続。4つの編成パターンとして①現状の小中学校をそのまま存



▲0歳児人口の推移

年度 学校名	将来予測										
	H22	H24	H26	H28	H30	R2	R4	R6	R8	R10	R12
有田小学校	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
有田中部小学校	18	17	17	16	16	16	16	14	13		
曲川小学校	12	11	11	10	10	11	10	9	9		
大山小学校	12	11	10	9	9	10	8	7	6		
有田中学校	11	9	9	9	9	9	9	8	8	9	8
西有田中学校	10	9	9	9	8	6	8	8	8	7	6

※小規模校（6～11学級）、中規模校（12～18学級）、大規模校（19学級以上）

▲学級数の推移

える。

議員 時期尚早ではないか。十分に意見が出て、納得いく判断ができるよう審議してほしい。

教育長 結論を急ぎ過ぎてはいけない。大切なことは、子どもたちを主役に考えることだ。将来に亘りどのよう

に育てるのか、十分な時間で審議することが必要と考える。

議員 有田町には、地

域の素材や人材が豊富にあり、特徴のある多様な価値観を作り出す条件がある。保護者から学校づくりの発想やアイデアを吸い上げ、共に参画することで、地域に元気を与え、魅力ある学校につながる。提案型アンケートなどを採りながら、意見集約はできないか。

教育長 審議会に諮りながら、検討をさせて頂きたい。

議員 白石町の小中学校統合再編では住民説明会を校区、地域別に分けて数多く開催され、パブリックコメントも実施されている。有田町では意見集約をどのように考えるか。

学校教育課長 答申後の今後の計画（案）を町ホームページや町広報などに掲載、または説明会等を行い、アンケート等で意見の集約を図りたい。

議員 町長の問題意識は。

町長 答申の中身を尊重し、町民からの意見を頂き進めていくべきである。有田町の教育が、未来を築く子どもたちのエンジンとなるので、子どもたちを第一に考えながら、審議会だけでなくオール有田で学校再編を取り組んでいきたい。

なかしま たつろう
中島 達郎 議員

暫く運用がない基金の積極転用を

答 いきた活用策を考えてみたい

町の財政

▽財務4指標による財政状態

議員 総務省は、地方自治体の財政の健全化を指導分析することを目的としているが、財務省は、地方自治体への資金（地方債等）の貸し手としての償還確実性の確認を目的としている。そこで4指標の中から、行政経常収支比率からみる財政状況を。

財政課長 行政経常収支比率は、行政における経常収入である地方税、地方交付税、国・県からの補助金等（ふるさと応援寄附金は含まれない）から、人件費、扶助費、補助金等の経常支出を差し引いた収支に対して、どの程度の地方債の償還財源を算出できるかという指標である。

例えばローンの返済に回せる資金が、どのくらいあるのかと同じ意味で、判断目安が概ね10%以上であればよいとされる。令和3年度が12・6%、同4年度が13・6%であり、この2年間は概ね良好だったが、令和2年度以前は、10%を下回り低水準であった。

議員 コロナの影響による財政の状況や、財務省の分析による収支低水準の要因であるソフト事業は、一度始めるとやめにくいとのことだが。

財政課長 コロナ禍の中、令和3、4年度は国からのコロナ関連の交付金を、各種事業に充当することができ、財源的に少し余裕ができたため、各指標の値が良好だった。今後この様な国からの交付金が減ると以前の水準に戻るので、財政状況

の見通しは少し厳しくなっていくと予想している。

また財務省の分析では、現時点では著しく悪くはないが、敢えて課題をあげれば、収支低水準（赤字予備軍）であると指摘されている。少子高齢化が進む中、医療・介護等の社会福祉費や、定住促進を普及させるための子育て支援策等の児童福祉費も今後増加傾向になると考えられる。このようなソフト事業が増えることで、経常収支が益々低水準になる懸念もある。

「債務償還可能年数」

実質債務（借入金）が経常収支の何年分あるかを示している。

「実質債務月収倍率」

実質債務（借入金）が月収の何力月分あるかを示している。

「積立金等月収倍率」

積立金（基金）が月収の何力月分あるか、耐久余力を示す。

「行政経常収支率」

企業分析の経常利益率に相当し経常収入に対する経常収支比率

財務4指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	3年度 県内平均	3年度 全国平均
債務償還可能年数	9.8年	2.0年	0.8年	4.2年	4.1年
実質債務月収倍率	4.7月	3.0月	1.4月	4.0月	6.5月
積立金等月収倍率	11.2月	11.4月	12.3月	10.9月	7.1月
行政経常収支率	3.90%	12.60%	13.60%	6.00%	15.30%

▲財務4指標

▲財務指標の経年推移（出典：福岡財務支局佐賀財務事務所）

▽基金の現状

議員 積立金等月収倍率から見た財政状況は。

財政課長 1年間の経常収入を12力月で除した額の、何力月分の積立金等があるかという指標であり、預貯金が給与の何力月分あるかということと同じ意味である。令和4年度は12・3力月分あり、全国平均を上回り、ある程度の備えになっている。

議員 その他特定目的基金の中には、暫く運用がない基金もあるが、町の発展や移住定住促進政策等に、積極的な転用ができないものか。

町長 基金をしっかり精査して、いきた有田のためになるような活用策も考えたい。

◇その他の質問

・普通財産の活用

歴史と文化の森公園の現状と対策は



もろくま ようすけ
諸隈 洋介 議員

答 維持運営するには手立ても必要

議員 公園の内外の現状と管理及び焔の博記念堂の現在の状況は。生涯学習課長 屋内外とも老朽化が進んでおり、ここ数年は改修費が増加している。
議員 指定管理者の選定方法は。財政課長 公募して指

「歴史と文化の森公園」の現状と指定管理団体の支出の合理性は



▲「歴史と文化の森公園」の焔の博記念堂

定管理者の候補者選定委員会において、書類審査及びプレゼンを精査し決定している。
議員 指定管理の費用の妥当性は。生涯学習課長 現在は妥当だと考える。
議員 ここ数年の取り巻く環境変化でインフラ率はバブル期に拮抗しており、今年は3・2%と予想される。指

定管理の事業費は現在4200万円だがこの予算で大丈夫か。
生涯学習課長 次期選定の折には金額も含めて総合的な検討も必要。
議員 今後は公園駐車場の有料化など、維持管理や運営に必要な費用等を議論する時期。
生涯学習課長 現在は無料の駐車場も、長期で維持運営するには費用対効果を含め、有料化も検討する余地がある。
町長 末永く維持運営するには手立ては必要である。

旧佐賀銀行跡地の再開発の進捗は

議員 現在の状況は。まちづくり課長 旧佐賀銀行跡地は重要伝統的建造物群保存地域。有田町都市計画審議会から、この地区にふさ

わしい建物を整備するようにとの指摘を受けた。運営面をどうするかを協議の結果、サウディング型市場調査が必要と考え実施している。

議員 早期に建物を建てるのではなく、議論を尽くして慎重に取り組むべき。
まちづくり課長 グラウンドデザイン検討委員会専門部会でも結論は

出ていないので、結論まで時間がかかる。
町長 観光及び移住定住も踏まえて慎重かつ大胆に進める。
議員 同床異夢にならぬように住民の納得いく開発を行うべき。

◇その他の質問
・令和5年度有田町子ども・子育て支援事業計画調査業務内容は。



▲内山地区 札ノ辻交差点旧佐賀銀行跡地



池田 栄次 議員

唐船川の整備と山の崩落対策を

答 現地を踏査し、関係機関と協議する



▲土砂が堆積して水路が狭く、葦が生い茂る唐船川

唐船川の葦の伐採

▽葦の伐採の申請は

議員 唐船川は葦（よし）が生い茂り、土石類も堆積して河川氾濫の恐れがある。唐船川は県の管理河川だが、過去、葦の伐採などで県に申請したのか。

建設課長 令和2年に申請の経緯がある。本年度も地元から整備の申請を受けている。

▽白土山の一部に亀裂

議員 唐船川の傍にある白土山の一部に亀裂があると聞く。崩落して唐船川を塞ぐと地域一帯が大災害になる。県・町の農林部門で連携した調査を求めるかどうか。

建設課長 現地の踏査をして、どのような対策ができるか関係機関と協議したい。

猿川の今後の維持管理

▽地域の要望で整備か

議員 猿川の堰堤を町が整備したことで、私は県や農林事務所、地域でも情報収集をした。その結果「かねての地域の整備要請に、町がふるさと応援基金を取り崩して予算を確保したもの」と結論付けた。その認識でよいのか。

商工観光課長 地域にも「猿川は県の管理河川なので、町としての整備は今年限り」と伝えている。

▽今後の維持管理は

議員 6月と9月議会での、猿川の今後の維持管理にかかる執行部の答弁に整合性がない。整理の意味で尋ねる。

「猿川の維持管理の主体は県、軽微な整備は地元の協力で」と認識し、整理して良いか。



▲大切な医療情報

商工観光課長 ご認識の通りである。

緊急医療情報キット

▽冷蔵庫に10年間も

議員 一般的に河川は危険箇所だとして、町は過去「危ない、近寄るな」と標識などの設置を指導してきた。猿川の水遊びは無論、普段の水難事故は誰が責任を負うのか。全体的な面で責任を尋ねる。

総務課長 大雨などで増水が予想される際、町が周知していなかった場合は行政責任を問われるかも知れない。水遊びは原則、自己責任と考える。

建設課長 自らの判断で利用する以上、自らの責任で安全対策をしてもらいたい。

総務課長 平成24年度に町は、65才以上の一人暮らしの方などの希望者に、医療情報キットを配布した。情報キットの更新は大切なので改めて周知する。シートが不足する方は総務課または健康福祉課までご連絡を。

かごしま国体視察で参考になった点は



はらだ かずひろ
原田 一宏 議員

答 会場周辺設備や運営面で参考になった

SAGA 2024国スポ

▽かごしま国体視察・
リハール大会

議員 かごしま国体視察で参考になった点は。

生涯学習課長 競技のリハール大会・本大会の各業務の担当となる町職員が、会場周辺設備や運営等を視察できたことである。

議員 宿泊施設が足りなかったようだ。

生涯学習課長 国スポでは、選手・監督の宿泊は、県が一括して旅行会社に委託する。県内及び近隣の宿泊施設は、旅行会社が直近まで押さえることになる。

議員 昼食はどうするのか。

生涯学習課長 選手・関係者の昼食は、県が一

括して旅行会社に委託する。町のスタッフ等の昼食は、地元業者を活用できないかと考えている。

議員 ボランティアの人員は確保できているか。

生涯学習課長 ホームページで呼びかけているが、接遇対応の研修会も必要となってくる。

議員 物販の対応は。

生涯学習課長 物販ブースを拡張して、飲食に限らず、やきもの関係もお願いしたい。休憩所も少し拡充できればと思う。



▲国スポ会場の焔の博記念堂
ウエイトリフティング演技台

議員 会場案内図とリハール大会冊子の案内図が、上下逆で見にくかったが、その対応は。

生涯学習課長 本大会には修正して対応したい。

議員 会場への入口が狭いが、入口門の拡幅や信号設置は。

生涯学習課長 シャトルバス運行の路線見直しや、仮設の信号設置を含め、スムーズに運行できるように検討したい。

議員 各県を応援するのぼり旗の作製と設置は。

教育長 のぼり旗作製に向け、すでに町内小中学校に依頼している。

議員 駅前の案内所や施設の拡充は。

町長 国スポ対応だけではなく、通年観光のことも考えて、賑わいができるように対応したい。

タウン プロモーション

議員 総務常任委員会で日光市を訪れた。財政規模や観光客数・文化遺産などに大きな差もあるが、数ある日光市のシティプロモーションを参考に、町でも情報発信できないか。

総務課長 プロモーション動画を含め、興味を引く内容で、大変参考になった。町は今年度ホームページの更新に向けて、まちづくり課で準備している。



▲日光市観光プロモーション
「NEW DAY, NEW LIGHT. 日光」

コロナワクチン 関連

議員 最新ワクチンの接種状況は。

健康福祉課長 町の全人口に対する接種率は21・7%で県内5位、65才以上の高齢者の接種率は47・1%で県内3位となっている。

議員 他県の新聞にワクチン不足の記事が出ていたが、町内ではどのような状況か。

健康福祉課長 ワクチンの配分は決まっているが、町内では医療機関の接種日等を調整して実施しているので、今のところ不足はない。

議員 今後の予定は。

健康福祉課長 来年度以降は、インフルエンザ同様の定期接種となり、秋冬一回の接種になる予定。料金は一部自己負担になるが、明らかに少ない。

タウンプロモーションの拡充を



いわ お 岩尾 匡 議員

答 背景の文化含め最大限にPRしたい

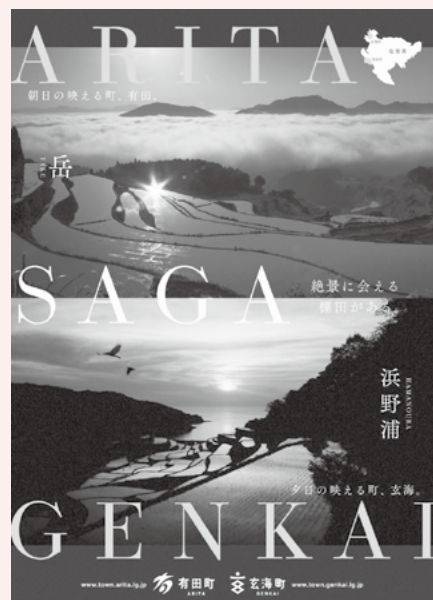
効果的情報発信の拡充

議員 インスタグラムをはじめ、現存アプリに町独自の取り組みも加え、有田の知名度を最大限に活かして総合的に発信充実に努めるとのことであったが、移住就業希望者などに関する広報は。

総務課長 農業面で就業支援、商工面で創業スクールの開催など、単なる広報から、町の営業活動に近い広報に転換したい。

議員 定住促進事業の差別化や見直しは。

まちづくり課長 短期体験と無料宿泊でのお試し住宅では移住に繋がりにくいため、秋の陶磁器まつりを利用した参加出店などを通じ、起業を前提とした有田ぐらし体験型へ、定住奨励金も移住者に限らず町内移転者への



▲絶景に会える棚田・岳の朝日と玄海の夕日

近隣産業と文化のPRは

優遇も視野に入れた施策に転換している。

議員 年齢制限や夫婦限定など、条件付き移住の定住支援は。

まちづくり課長 夫婦限定などは双方が支え合って生きていくという覚悟や就業意欲が確認できる良い視点であると思う。

議員 近隣産地の広報も必要と思うが。

町長 武雄や嬉野を抱き込んだ。ありったけ

のうれしいを”の企画や、肥前窯業圏でのドライビングマップによるデジタルスタンプラリーなどを通じて、他産地のPRもしている。主流の有田焼以外はPRが手薄になっているのが現状である。

議員 日本遺産標柱など、文化的付加価値の現地PRを。

商工観光課長 泉山磁石場に日本遺産の看板を設置しているが、標柱は未検討である。町内観光案内板の改善は箇所確認も終え、年内には完了予定である。

町長 考えに変わりはなく、加速増大している。ローマなどを視察した際、歴史と文化の魅力が大いに実感し、文化財の現実的な活用は正しい方策であると確信した。先の全国重要無形文化財保持団体協議会大会では、伝建も耳目を集め、文化庁

町長 別の方法であるが、インターシップに併せ、昭和女子大などへのヒアリングを行う予定である。また、佐賀大学の学生と有田を代表する職人さんとの交流体験も行った。若い人のUターンと外部の協働が必要であると考える。

催事広報面では、博多駅での肥前窯業圏物産展などもPR予定である。

議員 文化財の価値は保持から活用へ、地域生活者として過去の経緯より未来を見据えた施策について弁があったが。

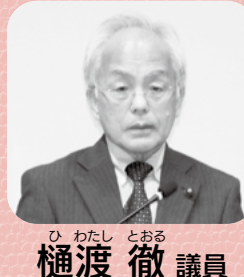
議員 関係人口獲得の手段として、旅をしながらお手伝いを通じて地域の人と関係性ができる「おてつたび」などへの取り組みも提案したいが。

町長 審議官にも高評価を得ており、活用面は強く進めたい。



▲水戸市偕楽園・日本遺産標柱

地域伝承芸能の継承に対する補助を



ひ わたし とおる
樋渡 徹 議員

答 地区内で継承の方向性が必要

伝承芸能存続の危機

議員 本町に継承されてきた伝承芸能で消滅した、あるいは継承が難しくなっているものがいくつかある。

町内で奉納される浮立もその中の一つであるが、保存会に対する補助の状況は。

生涯学習課長 町が把握している伝承芸能の17団体の内、文化財指定がされている3団体に後継者育成補助金を出している。

議員 西地区には、祇園に浮立を奉納する慣習が残っている。

山谷地区は、6集落を地区回しで山田神社へ奉納。大木宿は1集落で高



▲十八夜のドテマカシヨ



▲秋の十六善神奉納浮立

校生から45才までが十八夜会を組織し、龍泉寺へ雨乞い祈願の奉納を行う。

国外の観光客にも人氣があるが、夜間に行われる行事であり、花火の経費も大きく、地区からの支援が必要な状況にある。

若年者の参加も年々減少し、継承も難しい状況となっているが、ふるさと納税からの補助はできないか。

生涯学習課長 地区行事を後世に引き継いでいくためにも、地区内で方向性を考えていく必要がある。

身障者用アプリ

財政課長 町が伝承芸能に補助をするとの決定がなされたのちに、財源を決めることとなる。

議員 身障者手帳の提示の代替としてスマートフォンによる提示を可能とするアプリが開発され、有田町でも登録が可能となった。

広報有田の11月発行にも紹介されているが、その他の周知についてはどうか。

健康福祉課長 町やアプリメーカーのホームページの他、ミライロIDに対応している歴史民俗資料館や有田陶磁美術館、コミュニティバスでも、周知をしている。

議員 昨今は、大多数がスマートフォンに替えられている状況であ

るが、障がい者手帳をお持ちの高齢者に対し、ミライロIDへの登録のサポートは、役場の窓口でも可能か。

健康福祉課長 基本はミライロへ問い合わせをして頂きたい。



▲ミライロID アプリ

地域みらい留学

議員 地域みらい留学は、少子化に悩む地方の公立高が全国から生徒を受け入れる取り組みで、島根県での成功例をきっかけに全国に広がっている。

有田工業高校にも、今年度6人の留学生が入学した。過疎や少子

まちづくり課長 今の時点では考えていない。来期については、県が実施する宿舍等整備の補助事業に町も一部負担で、ゲストハウス、アパートや空き家のリフォームで対応したい。

学内内訳	クラス数	男子	女子	県外生徒数
1年生	1	23	13	13
2年生	1	7	17	9
3年生	1	13	24	13
合計	-	43	54	35

▲広島県立大崎海星高校の受入状況例（寮設置）



てつか ひで き
手塚 英樹 議員

町長の2年間を振り返って自己評価は

答 そうですね、72点ぐらいと思う

包括連携協定

▽ESG分析を活用した有田町新国富指標の向上に関する協定

議員 具体的内容は。

総務課長 国連・新国富報告書代表である九州大学都市研究センター長馬奈木教授とともに4者が協定を結び、有田町の持続可能な発展を目指し、有田町におけるESGの実践に取り組む協定である。

議員 ESG分析とは。

総務課長 産官学が協力して人的資本・自然資本・人工資本を数値化して検証し、価値の向上と持続可能な町を目指すものである。



▲連携協定の内容と目的

議員 横浜市は、SDGsを取り組む企業に認証を与えESG経営で投資を呼び込むシステムを作っている。自治体の取り組みは。

総務課長 自治体としては全国で初めての取り組みである。産業は二酸化炭素を排出している、他方では森林で削減も行っている。これらを検証・数値化する

るなど長期的に有田町の価値向上を目指す。

議員 国際基準では企業はSDGsを取り組んでいるか評価される。町はESG経営で投資を呼び込むことが目標か。

町長 SDGsの目標が2030年である。ESGは未来に向かって取り組むものだ。町で取り組むことで産業・農業の国内・海外戦略で評価される。

松尾町長の政策

▽2年間を振り返って

議員 町民より町長は何をしたのか、何をしたいのか分からないとの声が寄せられている。そこで地場産業の振興については。

町長 産業について価格高騰支援金・後継者育成事業（生地・型）・未来につながる有田焼事

業。農業については、さが園芸生産888億円推進事業で令和3年度新規就農者2人、令和4年度に1人、令和5年度に2人と着実に増加している。

有田町の豊かな自然・歴史・伝統を守りながらも常に挑戦し、ICT等の新技術を活用した持続可能な循環型社会のスマートタウンとして「整うまちづくり」を推進します。町民の皆様に応えることが、私の使命であり、大きな役割と強く感じております。

▲町長所信より

議員 観光振興については。

町長 地域活性化起業人として（株）全日空から受け入れ、観光情報発信・観光コンテツ作成を行った。昨春秋は「有田deおでこクーポン」で約1・8億円の経済効果があっ

た。県と有田町でアリタセラにてクリスマスイベント。3月には福岡で食と器による観光プロモーションを行う。

議員 子育て支援については。

町長 障害を持つ児童保護者の支援として、保育所等への巡回専門員派遣での個別相談窓口ができた。孤立児童に居場所づくりや食事の提供ができた。入学時応援金を創設した。

議員 2年間を振り返って何点と自己評価されるか。

町長 そうですね、72点ぐらいと思う。

議員 残り2年で成し遂げたい施策は。

町長 2024国スポを成功に導くこと、手のひら役場DX化、観光プロモーション、宿泊場所の確保など、これらはしっかりやっていきたい。

文化勲章受章者 青木龍山氏を町として顕彰を



かじ はら さだ の り
梶原 貞則 議員

答 展示館を龍山氏の作品と共に活用していきたい

町として顕彰を

議員 陶芸家の故青木龍山氏が文化勲章を受章されたことは、皆さんご存じかと思うが、文化勲章について詳しい内容や意味について、改めて説明を求め

商工観光課長 昭和12年に制定された文化勲章は、文化の発達に功績のあった方

に対して授与される日本の勲章の一つである。文化の日に宮中において天皇陛下から直接授与され、令和5年度までに約440人の方が受章されている。そのうち陶芸家の受章者は10人で



▲文化勲章受章時の青木龍山氏（右端）

あり、青木龍山氏は平成17年、79才の時に佐賀県で初めての文化勲章受章者となられた。

議員 平成28年3月に青木邸と龍山氏の作品が町に寄贈されたがその活用方法は。

商工観光課長 今年8月に焔の博記念堂において、龍山氏のフィルムコンサートを開催し、龍山氏の作品も一緒に展示した。また、

10月に地域おこし協力隊の活動報告会を青木邸で開催した。

議員 龍山氏は佐賀県で唯一の文化勲章受章者である。他には幼少期を佐賀市で過ごした岡田三郎助氏も、昭和12年に第一回目の文化勲章を受章されている。県では、県立美術館内に「OKADA ROOM」として常設展の部屋を設け、岡田氏の画業を顕彰している。

また、陶芸家として初めて文化勲章を受章された、板谷波山氏の生家と記念館を栃木県筑西市が管理し、その功績を顕彰している。有田町として龍山氏の陶業を称え、顕彰していく必要があるのではないか。

町長 寄贈していただいた建物の左側の展示館を龍山氏の作品と共に活用していきたい。

町民の健康寿命を延ばす策を

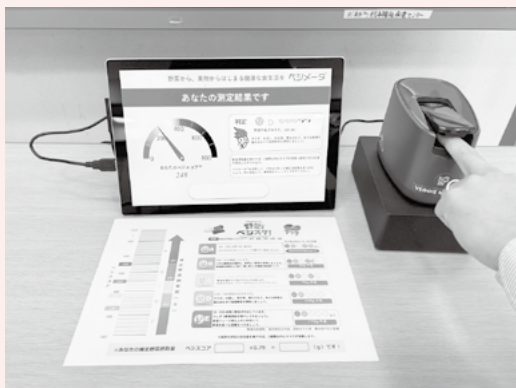
議員 増え続ける医療費を抑制するために、日頃の個々の健康づくりが大切であると考ええる。現在、町として行っている健康づくりに対しての支援策は。

健康福祉課長 町では「健康づくり介護予防ポイント事業」を実施している。これは、健康診断や介護予防のための活動に参加することでポイント

を貯め、貯まったポイントを商品券に交換して、町内でお買い物ができる事業である。また、今年10月に導入したベジメータを活用し、野菜摂取量の見える化

への取り組みを実施していく予定である。

議員 ポイント事業は大変良い事業だと思うが、健診よりも、健康づくりのための運動にポイントを増やし、病院にかからない体づくりが医療費を抑制するためにも必要なことだと思う。また、食生活ではベジメータをフルに活用して、健康寿命の延伸、医療費の抑制に努めていただきたい。



▲ベジメータ



かもはら た み お
蒲原多三男議員

「プラスチックごみゼロ」宣言を

答 大事なことなのでいろんな展開を考える



▲プラごみリサイクル

プラスチック ごみゼロ宣言を

議員 プラスチックごみによる海洋汚染等の環境問題がクローズアップされる中、昨年4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行され、プラスチックの削減と、リサイクルの促進が喫緊の課題だ。3RのR（リデュース＝廃棄物の発生抑制）、（リユース＝製品の再利用）（リサイクル＝資源の再利用）に加え、Renewable（リニューアブル＝再生可能な資源に替える）と持続可能、資源

循環から、サーキュラーエコノミー（循環経済）への加速で、未来の世代を守り、我が地域を守るために町においても「プラスチックごみゼロ宣言」を。

住民環境課長 海洋汚染をはじめ環境への影響が深刻な問題。市町はプラスチックの資源循環の促進に必要な措置に努めなければならない。近隣自治体を参考に今後検討したい。

町長 大事だと思う。プラスチックごみは多いと感じる。どういことができるか検討したい。

議員 ペットボトルの回収率・リサイクル率で日本は、世界でもトップクラス。衣類・土木建築資材・食品用トレイ・文具・事務用品等々に広く再生されている。地域による差はあるが、回収過程にてごみの混入の問題があ

り、回収ボックスに大量のごみ、異物混入がある。この認識は。

住民環境課長 飲料容器のリサイクルに取り組む事業者にとって、品質の低下や再利用の支障になると懸念している。異物混入の防止対策も必要である。

議員 異物が混入しにくい「新機能リサイクルボックス」の展開を国も後押ししている。東出張所と歴史と文化の森公園に設置してある、入れ口が下向きのものである。他の地域でも異物混入やゴミの散乱が減少したのと。官民共同の「新回収モデル策定」の協議体の立ち上げはどうか。

は、不法投棄になる可能性もある。事業者や周辺住民への影響もある。SDGsの理念の「つくる責任 つかう責任」として、意識啓発により、温暖化防止、環境保全に努める。

食品ロスへの更なる取り組みを

議員 まだ食べられるのに廃棄される食品は、年間612万トン。事業者が55%を占め、残りの45%が家庭からの廃棄。飲食店や小売店で残った食品を消費者へのフードシェアリングは。

子育て支援課長 多世代交流センター「ゆいたん」では、残りの食材を活用して惣菜販売の取り組みをしている。食品ロス削減は、家庭・事業者へのさらなる啓発が必要。

ども宅食への取り組みは。

子育て支援課長 社会福祉協議会や企業では、家庭からの寄付や企業の規格外品などを基にフードバンクを実施し、こども食堂や宅食に活用して、「もったいない」を「ありがたい」とつなぐと繋げている。

議員 地域の人や業者が食品を提供するコミュニティフリッジ（公共冷蔵庫）の活用は。

子育て支援課長 現在、県内では佐賀市内の1カ所で行われている。皆さんへ情報提供していく。



▲「もったいない」「ありがとう」

茨城県石岡市・栃木県益子町

石岡市にはゆめファーム（JAやさと）と朝日里山ファーム（石岡市）の就業支援施設がある。1999年から有機栽培に取り組んできた。東都生協が安定した販売先である。これにより計画栽培と安定収入ができる。移住者は現在100人を超えている。

場所： 朝日里山ファーム



場所： 益子町役場



地場産業である益子焼は販売額、事業者数、従業員数、陶土使用量は年々減少している。

ピーク時95億円の販売高が昨年は19億円となっている。

40才以下の若手陶芸家向けの家賃の補助、設備賃借補助、設備の導入及び雇用事業主に対する補助を創設した。

平成28年に開業。道の駅機能のほか、直売所、レストラン、加工施設で構成している。令和4年度第8期の売上は8.9億円である。

また来場者は80万人で出荷登録者数211人、農産物も地場でできない物は他地域から仕入れて販売数量を見て地場栽培に切り替えている。

場所： 道の駅ましこ



まとめ

農業研修生の独立に向けた手厚い支援が結果を残している。安定した販売先ができていることが、安心して移住できる条件である。窯業産地はどこも同じ問題を抱えている。若者に特化した支援は重要である。道の駅ましこは交通量が多い所ではないが集客力がある。売り場の品揃えを地場産にこだわらず、お客さん目線で考えられている。

産業建設常任委員会

委員長	手塚 英樹		
副委員長	諸隈 洋介	委員	岩尾 匡
委員	樋渡 徹	委員	松尾 文則

兵庫県たつの市・文化庁・京都府京都市

場所： 兵庫県たつの市



「西播磨成年後見支援センター」の取り組み…昨今、成年後見制度の利用申立が増加し、補助人、補佐人、後見人の担い手がおらずに全国的に課題となっている。たつの市は早い段階から市民後見人の養成という一般の市民が後見人を担える制度を開始。

場所： 文化庁



「文化庁・重要伝統的建造物群保存地区への支援等」…生活文化を含めた伝統文化等の継承・発展は喫緊の課題であり、効果的にそれを実現するには子どもたちに対して早いうちから段階的に体験・修得する機会を提供すること。文化や伝統芸能などという難しいイメージがついてしまうが、興味や関心をもってもらえるような事業を地道に一つひとつ行うことが重要だと感じた。

「単身高齢者万一あんしんサービス事業」…身寄りのない低所得者の高齢者が増加し、お亡くなりになった後の葬祭執行や残置処分、高齢者ご自身の不安、あるいは家主の不安は浮き彫りに。家主あるいは地域の安心確保につなげていくことを目的とした事業であった。

場所： 京都府京都市



まとめ

核家族化や社会との希薄がささやかれる中で公的団体が窓口として、誰もが安心できる地域づくりの一環だと感じた。当町としても、一人暮らしの高齢者が増加傾向にあるため、類似した課題は潜在化している可能性がある。京都市と同様、官民一体となって環境整備していく必要性が高い。さらに情報収集と研鑽を重ね、町の未来発展へつなげたい。

文教厚生常任委員会

委員長	藤 誠一郎
副委員長	松永 俊和
委員	浦川 和彦
委員	福島日人士
委員	梶原 貞則

衆議院第二議員会館・栃木県日光市

場所： 衆議院会館第5会議室

総務常任委員会の初めての取り組みである各省庁職員との意見交換。グローバルな地域活動化、ふるさとワーキングホリデーの推進、過疎地域の持続的発展に向けた取り組み。

また地方における特老や社協の厳しい運営状況に対する財政支援策の要望等、多くの課題を語り合えた大変有意義な1日であった。



場所： 日光市議会会議室



栃木県日光市 世界遺産「日光の寺社」日本人の誰もが知っている「日光東照宮」のある観光地。(人口76,743人 令和5年10月)こんなに有名なところなのに、何故まちをあげてのシティプロモーション活動なのか。今の日光の“合言葉”「NEW DAY, NEW LIGHT. 日光」…新しい日、新しい光。新しい日光を指し示す言葉。しかしこの研修の答えは、職員さんの発した言葉にあった「消費者」…熱い思い。

研修最終日の朝。出発前に、日光市のシティプロモート活動の形を探しに今市の街を歩いてみた。そこには、日本中の誰もが知っている二宮尊徳翁が祭られた報徳二宮神社とお墓があった。遺訓「人生まれて学ばざれば生まれざると同じ」「学んで道を知らざれば学ばざると同じ」「知って行うこと能はざれば知らざると同じ」

場所： 日光市今市商店街の中に



まとめ

研修1日目は、こちらからの事前質問を基に会議を進めたが、熱心な受け答えに、将来この国を支えていくであろう若手官僚13人の姿勢や眼差しに、感心しきりであった。

2日目の日光市では、担当の職員さんが会議の中で、日光の来客数と言わず消費者と表現。お役所の人らしからぬストレートな表現に度肝を抜かれた。

総務常任委員会

委員長	中島 達郎	副委員長	蒲原多三男
委員	久保田 豊	委員	原田 一宏
委員	池田 榮次	委員	今泉藤一郎

町議会広報研修会において 議会広報クリニックを受診

議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況のなか、議会広報編集委員を対象とした研修会がおこなわれた。毎年、有田町議会は議会だよりを送付し、議会広報クリニックを受けて講評とアドバイスを頂いている。全体としては概ね高評であるが、改善点のアドバイスも頂いた。広く町民の方に読んでもらえる「議会だより」を発行するために創意工夫も必要であり、継続する大切さを学んだ。



▲令和5年11月20日（月）佐賀県市町会館大会議室

三重県朝日町議会から行政視察

今回の視察の研修事項は2項目で、まず「財政改革の取り組みについて」財政課長より有田



▲令和5年11月7日（火）三重県朝日町議会より
議長以下13人が訪問（有田庁舎4.5会議室）

町の財政状況を朝日町との比較表で説明し、歳出削減の取り組みとして予算編成時における枠配分方式の導入、有利な地方債の活用等について説明した。次に、「自主財源確保（ふるさと納税）の取り組みについて」総務課長より寄付額やふるさと応援基金残高の推移を説明し、有田町の寄付額増額に向けた取り組み、更に、企業版ふるさと納税の取り組みの強化について説明した。

朝日町議会からは、「財政状況を朝日町との比較で説明を受けたのは初めてで、わかりやすかった。」また、「ふるさと納税については、今後、力を入れることとしており、具体的な話が聞けて参考になった。」等の感想をいただいた。

12月15日の本会議において委員会条例の改正（内容は委員の任期変更）の発議がなされ、議会運営委員会で協議の結果、近日中に議会全員協議会及び臨時議会で協議することとなった。

有田町議会
HPはこちら



■議長交際費支出状況（令和5年10月～12月）

項目	件数	支出額(円)	備考
会費	2	13,700	行政懇談会費ほか1件
雑費	2	15,000	東京有田会記念品代ほか1件
合計	4	28,700	

あ と が き

「4年ぶりの開催」を冠した報道や広報が全国各地でなされた令和5年。3年にわたるコロナ禍での自粛や中止・延期に翻弄されていた様々な活動が一斉に息吹き、ここぞとばかりに自己実現や活躍の場が戻り、スポーツ・文化面を問わず希代の快挙もみられた。有田町でも陶器市の復活に始まり、一年を通じて各所の催事に賑わいが戻った。人が集う地域のくらしの中に、祭りや伝統行事・郷土食など、先人の恩恵を受け継ぎ、繋ぐことの意義を年齢とともに実感する。

令和6年、第120回を迎える有田陶器市やSAGA2024国スポ・全障スポなどの開催で、多くの人たちが有田に目を向けられる。こ来有の方々に喜ばれるよう、さらなる地域の活力を培ってきたい。

議会広報発行特別委員

委員長	諸隈 洋介
副委員長	樋渡 徹
委員	浦川 和彦
委員	岩尾 匡
委員	久保田 豊
委員	中島 達郎